

青少年ゆがね

青少年育成湯沢市民会議 令和5年3月1日発行

令和4年度 青少年育成湯沢市民大会



令和4年度 青少年育成湯沢市民大会

11月16日(水) 稲川中学校体育館において、湯沢市教育委員会共催、湯沢秋田ライオンズクラブ、雄勝小野小町ライオンズクラブ、稲川ライオンズクラブの協賛により、令和4年度青少年育成湯沢市民大会が開催された。

今回も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大会関係者のみによる開催を余儀なくされたが、湯沢市雄勝郡内の各中学校の代表は、稲川中学校生徒等が見守る中、堂々と意見発表を行った。

意見発表



私を変えてくれたこと

湯沢南中学校 3年

佐藤 愛結

いつも当たり前のように繰り返される「出会い」。それは私たちの日常にあまりにも身近すぎて、強く意識されるものではないかもしれませんが、しかし、人と人との出会いによって私たちは成長し、大切なものを学ぶのではないのでしょうか。

私は山田小学校の卒業を機に、湯沢南中学校に入学しました。中学校に入學して初めて出会う人がほとんどで、期待よりも不安が大きかったことを覚えていきます。南中は人数が多い分、いろいろな意見や考えをもつ人がいます。折り合いをつけることが難しいときも多くあり、小学校のときのようにはいきませんでした。

そんなとき、私の心の支えとなっている小学校からの友人の姿が思い浮かびました。その子は買い物に行くと、自分の欲しいものには目もくれず、いつも友達や家族が喜びそうなものを選んでくれるような、周囲を思いやることのできる子でした。私は、その友人の姿を思い出し、自分は周りのことを考えずに発言することがたくさんあったと気がつきました。それからは思ったことをすぐ口にせず、相手の立場や気

